

# 令和8年度 第4回理事会

日 時：令和8年7月10日（金）15:30～

場 所：森林総合研究所（つくば市）大会議室

## I. 議 題

1. 「機構理事会だより」の発行について（案）（非公表）〔総合調整室〕

## II. 報 告

1. 第22回国立研究開発法人協議会総会について（非公表）〔研究担当理事〕
2. 「コンプライアンス推進に向けた2026年度標語」について〔法令遵守担当理事〕
3. 令和8事業年度会計監査人候補者の選定について（非公表）〔監査室〕
4. 「森林総合研究所の概要」の作成について〔総合調整室〕
5. 筑波診療所について（報告）（非公表）〔総務部〕
6. 特定母樹等普及促進会議の開催について〔林木育種センター〕
7. 令和8年度保険料収入及び保険金支払の実績（暫定値）について（非公表）  
〔森林保険センター〕
8. 災害救助法の適用を受けた区域を対象とした森林保険の対応について  
〔森林保険センター〕

## III. その他

1. 今後の主な会議・行事予定について
2. 主要行事
3. 森林研究・整備機構が広報普及した主なプレスリリース等について

## 「機構理事会だより」の発行について（案）

当機構の第 6 期中長期計画では、「その他業務運営に関する重要事項」として、「ガバナンスの強化」が挙げられている。

ガバナンスの強化に当たっては、理事長・理事の意向を組織全体に浸透させるとともに、理事会の運営を透明化していくことが不可欠である。あわせて、機構を一体として運営していくためには、各職員に、機構全体の動きに対する関心を高めて頂き、機構に対する帰属意識を培っていく必要がある。

このため、下記により、本年 7 月から、理事等からのメッセージや理事会の報告などを内容とする機構内部向けのニュースレター「機構理事会だより」を発行することとしたい。

### 記

#### 1. 名称

機構理事会だより

#### 2. 構成

##### （1）理事等メッセージ

理事会メンバーのメッセージ（800 字程度）を掲載する。執筆に当たっては、各理事等の人となり伝わるように、内容を工夫する。

執筆は、理事会メンバー（14 名）の回り持ちとする（※ 7 月：理事長、8 月：川村理事、9 月：小林理事、10 月：嶋田理事、11 月：保科理事、12 月：小平理事、1 月：平井監事、2 月：野村監事、以後、その他の理事会メンバー）。

##### （2）理事会の報告

当月の理事会の結果を報告する。内容は、現在作成している内部用の記録を基本として、議題の内容を簡潔に説明するとともに、議題の背景や具体的な質疑も紹介する。

執筆は、編集担当が担当し、必要に応じて、理事会メンバーに確認する。

### **(3) 機構の動き**

前月の機構全体や研究所・各センターの動きで、機構全体に共有すべきものを紹介する。(例：重要な会議の開催、予算の動き、要人の視察、報道での取り上げなど。)

執筆は、機構全体分・研究所分については、編集担当が担当する。各センター分については、各センターからの寄稿を募る。

### **(4) コラム**

研究所、センター等に関連するコラムを掲載する。

執筆は、編集担当が担当するが、必要に応じて適宜依頼する。

## **3. 編集**

総合調整室（総括審議役）が担当する。

## **4. 発行**

本年7月から毎月、理事会の翌週を目途に発行する。分量は、A4で3～4枚程度を目安とする。

PDF ファイルの書式に整えた上で、メールで全組織に配信する。発行前に、総合調整室から理事会メンバーに内容を確認する。

なお、寄稿を求める記事は、当該月の理事会までに提出を求める。

(以上)

「コンプライアンス推進に向けた 2026 年度標語」 について

コンプライアンス推進に向けた 2026 年度標語の募集を行い、各部門のコンプライアンス推進委員会による審査の結果、各優秀標語を決定した。

各部門の最優秀賞 3 作品は、当機構における 2026 年度のコンプライアンス推進標語として、今後 1 年間にわたり周知、活用するもの。

また、同作品を含む下記の優秀作品は、国立研究開発法人協議会（国研協）の今年度の「コンプライアンス推進月間 2026」の統一スローガン候補として当機構から応募済。

【森林総合研究所等】

**最優秀賞** 「おかしい」が 言える職場に 不正なし

監査室 小松 大希

優 秀 賞 気を付けて 昔はセーフ 今アウト

コンプライアンス推進室 平野 和彦

優 秀 賞 信頼を築いた先に 誇れる研究

東北育種場 橋本 光司

応募総数 34 点 （ 15 名）

【森林整備センター】

**最優秀賞** 迷ったら ひとりで抱えず まず相談

中国四国整備局 尾倉 智希

優 秀 賞 大丈夫？ ひとりひとりの 声がけは 明るい職場の礎です

森林管理部 横山 俊輔

優 秀 賞 言える職場、聴ける上司が組織を守る

法令遵守担当理事 小平 恵子

応募総数 169 点 （ 102 名）

【森林保険センター】

**最優秀賞** 失敗を隠さぬ勇気が明日の一步へ

保険企画課 石崎 峰孝

優 秀 賞 大丈夫？ 立ち止まって 問う勇氣

保険企画課 齋藤 繁宏

優 秀 賞 「あ・い・さ・つ」は返されなくても、自分から。  
人と人との対話を大切に！

リスク管理室 野間 一宏

応募総数 21 点 （ 8 名）

以 上

### 「森林総合研究所の概要」の作成について

この度、資料「森林総合研究所の概要」を作成しました。

本資料では、当研究所の概要（位置づけ、組織、沿革、予算・要員等）を整理した上で、第6期中長期計画における重点課題・戦略課題を示し、戦略課題の分野別に、関連する既往の成果をとりまとめました。

研究所の概要を対外的に説明する機会があれば、本資料を積極的にご活用願います。

なお、資料のファイルは、森林総合研究所ホームページの「研究紹介＞刊行物＞研究所の広報、活動」に掲載しております。

掲載先の URL : <https://www.ffpri.go.jp/pubs/index.html>

# 森林総合研究所の概要

令和8年6月



国立研究開発法人 森林研究・整備機構  
森林総合研究所

# 目 次

## I. 研究所の概要

1. 森林総合研究所の位置付け
2. 森林総合研究所の組織
3. 森林総合研究所の沿革
4. 森林総合研究所の予算・要員
5. 森林総合研究所(本所)の構内

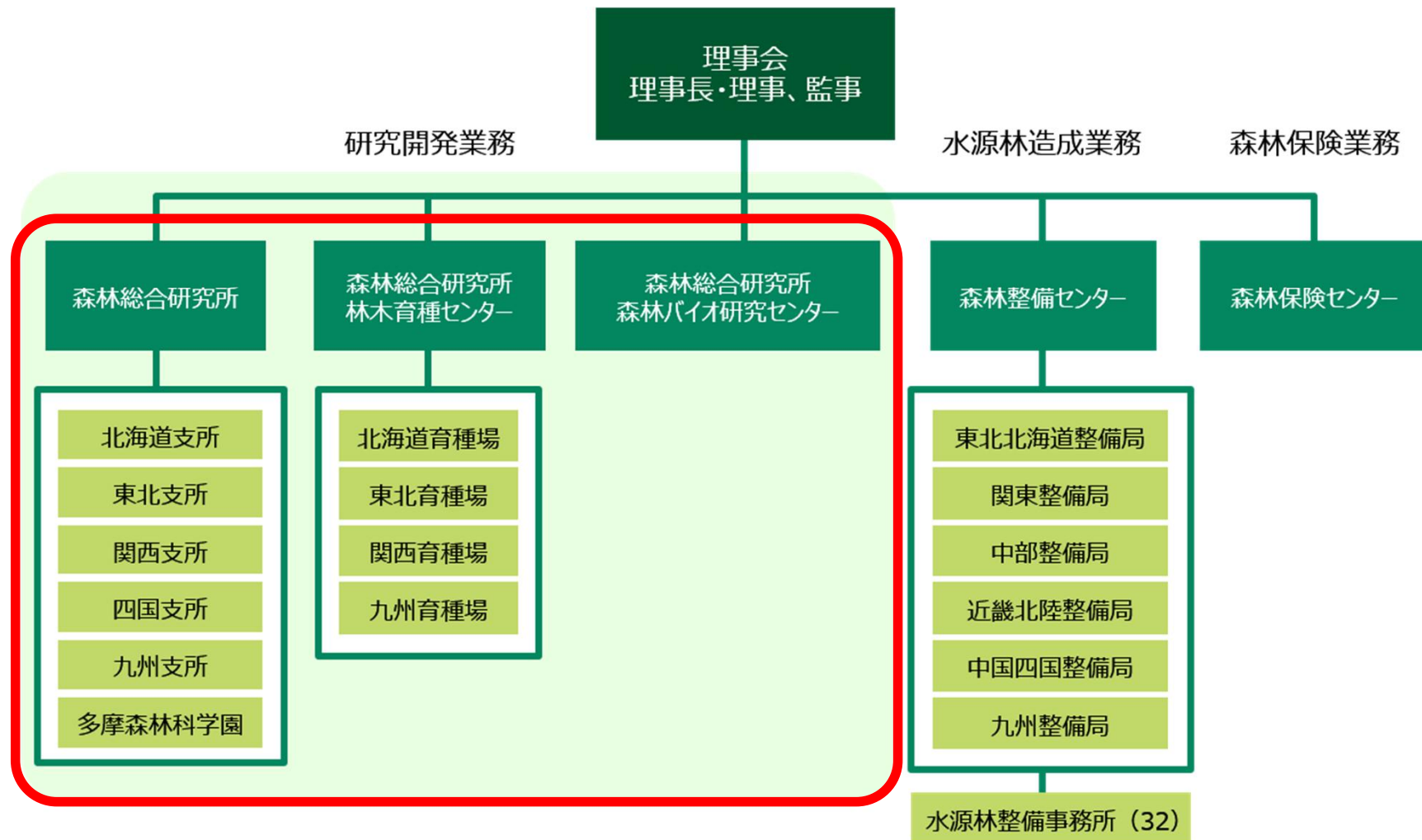
## II. 研究の概要

1. 重点課題・戦略課題
2. 第6期の戦略課題に関連する第5期の主な成果
3. 成果の普及

# I . 研究所の概要

# 1. 森林総合研究所の位置付け

- 森林総合研究所は、(国研)森林研究・整備機構の一組織。森林・林業に関する研究開発業務を担当。
- 機構は、理事会の下に、森林総合研究所、林木育種センター、森林バイオ研究センター、森林整備センター、森林保険センター(水源林造成業務)、森林保険センター(森林保険業務)を設置。



(国研)森林研究・整備機構の組織

## 2. 森林総合研究所の組織(森林総合研究所)

- 森林総合研究所には、研究部門として、林業研究、森林研究、木材研究、戦略研究の各部門を設置。支所等として、北海道、東北、関西、四国、九州の各支所と多摩森林科学園を設置。
- 研究ディレクター・研究コーディネーターは、分野横断的に、研究課題の進捗や連携を管理。



## 2. 森林総合研究所の組織(林木育種センター・森林バイオ研究センター)

- 林木育種センターは、林業用の樹木の品種改良、先端技術を用いた育種期間の短縮、遺伝資源の収集・保存、林木育種の海外協力などを担当。開発した品種は、都道府県等を通じ、種苗生産業者に供給。
- 気候・土壌、適応品種等の違いにより全国を5つの「育種基本区」に分け、各地に育種場を設置。
- 森林バイオ研究センターは、ゲノム編集等バイオテクノロジーを活用した育種技術の開発等に関する研究を担当。



### 3. 森林総合研究所の沿革

- 森林・林業の研究機関は、明治38年に農商務省山林局が現在の東京都目黒区に「林業試験所」を開設したことに始まる。令和8年時点で、121年の歴史あり。
- 昭和53年に筑波研究学園都市に移転(※跡地は「林試の森公園」)。昭和63年に「森林総合研究所」に改称。
- 平成13年に独立行政法人化、平成27年に国立研究開発法人へ移行。

明治11年 内務省地理局が「樹木試験場」を開設(東京都北区)。造林に関する試験調査を開始。

明治33年 農商務省山林局が樹木試験場を廃止、「目黒試験苗圃」(東京都目黒区)を開設して、業務を移転。

明治38年 農商務省山林局が「林業試験所」を開設(東京都目黒区)。

明治41年 内務省北海道庁が「野幌林業試験場」を開設。

明治43年 「林業試験場」に名称変更。

大正10年 宮内省帝室林野局が「林業試験場」を設立(八王子市)。

昭和15年 宮内省帝室林野局が「北海道林業試験場」を開設(札幌市)。

昭和22年 林政統一により、宮内省・内務省所管の林業試験場を統合、「農林省林野局林業試験場」となる。

昭和53年 筑波研究学園都市に移転。

昭和63年 「森林総合研究所」に改編・名称変更。

平成13年 「独立行政法人森林総合研究所」が発足。

平成19年 独立行政法人林木育種センターを統合。

平成20年 旧緑資源機構の業務を承継。

平成27年 「国立研究開発法人森林総合研究所」に名称変更。旧国営森林保険業務を承継。

平成29年 「国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林総合研究所」に名称変更。



「林試の森公園」(林業試験場跡地)にある  
「林業研究発祥の地」石碑  
(東京都目黒区・品川区)

資料:「森林総合研究所百年のあゆみ」など

森林総合研究所の変遷

## 4. 森林総合研究所の予算・要員

- 森林総合研究所の**予算総額は110億円程度**。収入の大部分は、政府からの**運営費交付金**。
- 上記に加えて、研究関連の**外部資金を18億円**(R6実績)獲得。
- **職員数は694名**。うち、研究職員が434名、一般職員が260名。女性比率は22%(研究:19%、一般:28%)。

(単位:百万円)

| 項目       | 予算額    |
|----------|--------|
| 運営費交付金   | 10,866 |
| うち人件費    | 8,192  |
| 一般管理費    | 704    |
| 業務経費     | 1,922  |
| その他      | 48     |
| 施設整備費補助金 | 0      |
| 受託収入     | 745    |
| 諸収入      | 28     |
| 合計       | 11,638 |

森林総合研究所の予算(令和8年度)

(単位:百万円)

| 項目        | 金額    |
|-----------|-------|
| 政府等受託     | 411   |
| その他の受託研究  | 669   |
| 助成研究      | 28    |
| 科学研究費助成事業 | 499   |
| 研究開発補助金   | 184   |
| 計         | 1,793 |

研究関連外部資金の内訳(令和6年度)

(単位:人)

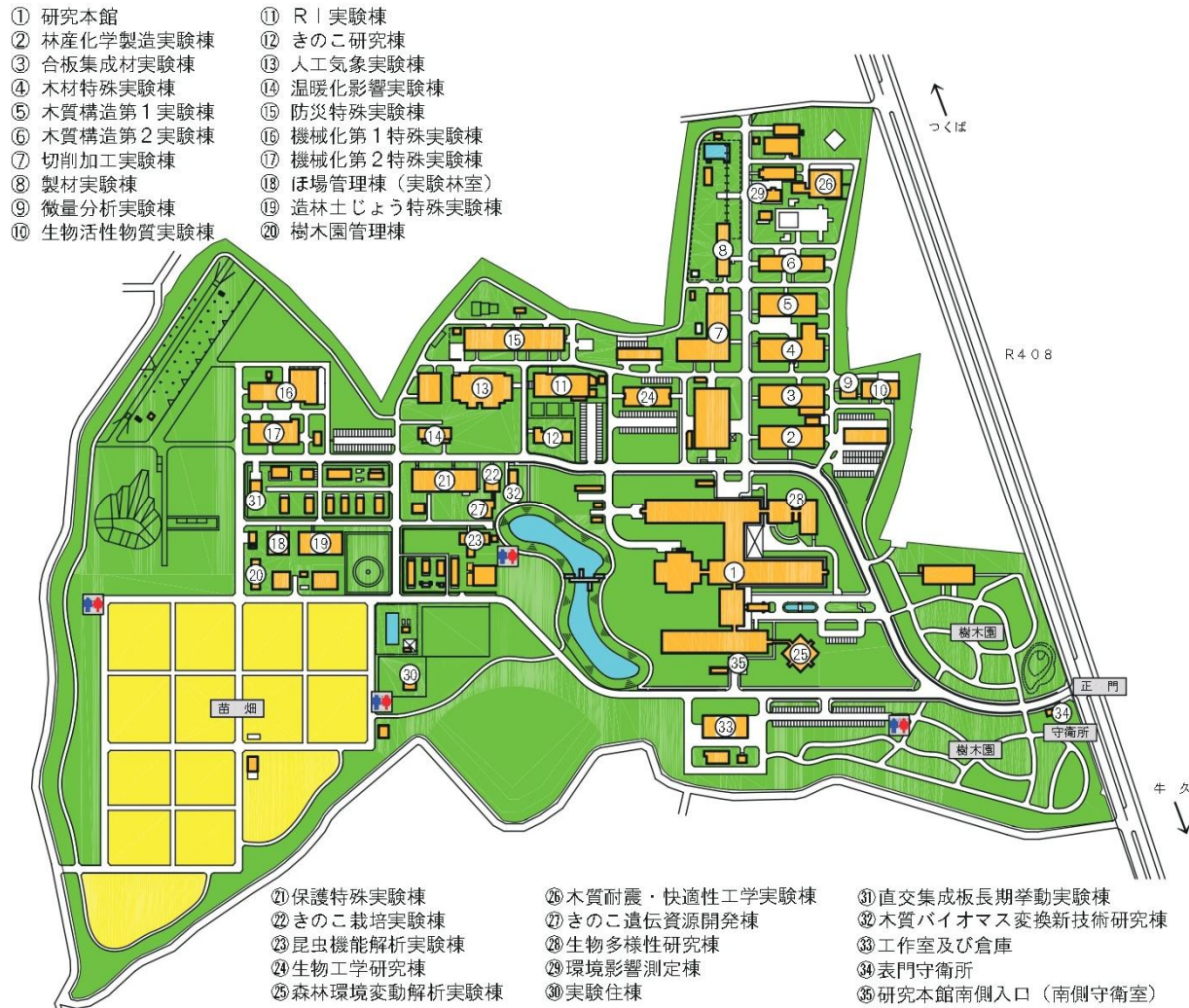
| 区分   | 森林総合<br>研究所 | 林木育種<br>センター等 | 計        |
|------|-------------|---------------|----------|
| 研究職員 | 391(75)     | 43(8)         | 434(83)  |
| 一般職員 | 173(53)     | 87(20)        | 260(73)  |
| 計    | 564(128)    | 130(28)       | 694(156) |

注:括弧書きは女性職員の数(内数)。

森林総合研究所の職員数(令和8年度)

## 5. 森林総合研究所(本所)の構内

- 森林総合研究所(本所)の敷地面積は32.5ha。構内に98棟の建物あり。
- 「樹木園」には、638種類の国内産・外国産樹木を収集(※構内の第一樹木園は見学自由)。
- 「もりの展示ルーム」では、森林や木材等に関する最新の研究成果を展示(※団体見学のみ)。



森林総合研究所(本所)の構内図



樹木園



もりの展示ルーム

## Ⅱ. 研究の概要

# 1. 重点課題・戦略課題

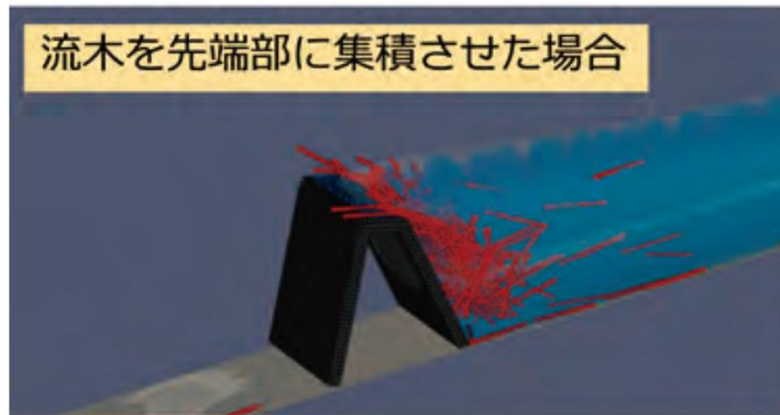
- 令和8年3月に、(国研)森林整備・研究機構の「第6期中長期計画」(R8～R14)を策定。
- 研究開発業務では、3つの重点課題、(A)環境変動対策の高度化と森林の多面的機能の発揮に向けた研究開発、(B)林業の持続的かつ健全な発展と木質資源の高度利用のための研究開発、(C)多様で持続的な森林資源の造成・利用に貢献する林木育種の下に、8つの戦略課題を置き、376の研究課題(R8当初)を実施。

| 重点課題                               | 戦略課題                                  | キーワード                             | 研究課題数<br>(R8.4時点) |
|------------------------------------|---------------------------------------|-----------------------------------|-------------------|
| (A)環境変動対策の高度化と森林の多面的機能の発揮に向けた研究開発  | (A1)森林の環境保全・調整機能の強化に向けた研究開発           | 気候変動、水・物質循環、防災・減災、モニタリング          | 85                |
|                                    | (A2)森林の生物多様性の評価と保全に向けた研究開発            | 種・生態系の多様性、遺伝子の多様性、多様性保全           | 84                |
| (B)林業の持続的かつ健全な発展と木質資源の高度利用のための研究開発 | (B1)森林資源の持続的利用と山村地域の活性化のための研究開発       | 人文・社会科学、造林・育林技術、作業の自動化・安全化、森林空間利用 | 58                |
|                                    | (B2)森林病虫獣害防除技術と森林微生物資源の高度利用技術に資する研究開発 | 病虫獣害、森林微生物資源                      | 44                |
|                                    | (B3)木材の高度利用に向けた研究開発                   | 木材特性、加工技術、木質材料、木質構造               | 34                |
|                                    | (B4)木質バイオマスを持続的・総合的に利用するための研究開発       | バイオマスエネルギー、リグニン、抽出成分              | 26                |
| (C)多様で持続的な森林資源の造成・利用に貢献する林木育種      | (C1)林木育種基盤の充実と育種技術の高度化                | エリートツリー、林木遺伝資源、ゲノム育種              | 36                |
|                                    | (C2)優良品種等の開発・普及及び技術指導                 | 特定母樹、技術指導                         | 9                 |
| 計                                  |                                       |                                   | 376               |

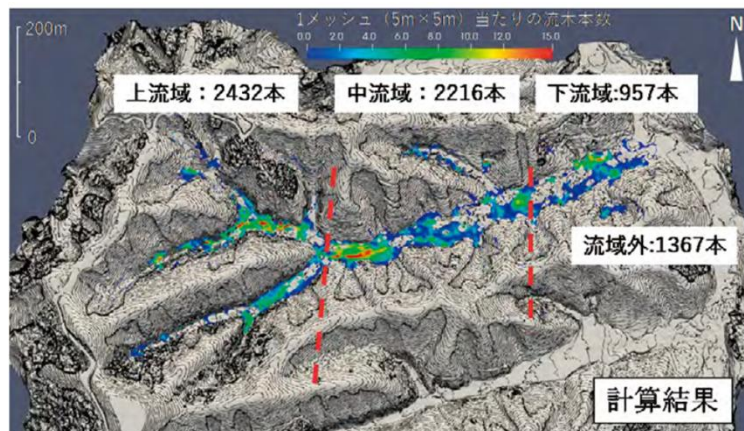
## 2. 第6期の戦略課題に関連する第5期の主な成果①

### 【(A1)森林の環境保全・調整機能の強化】

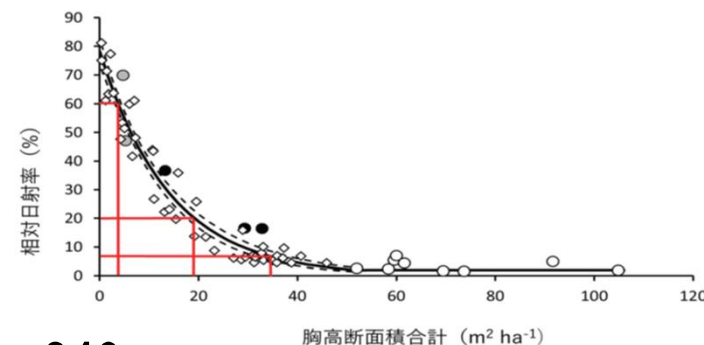
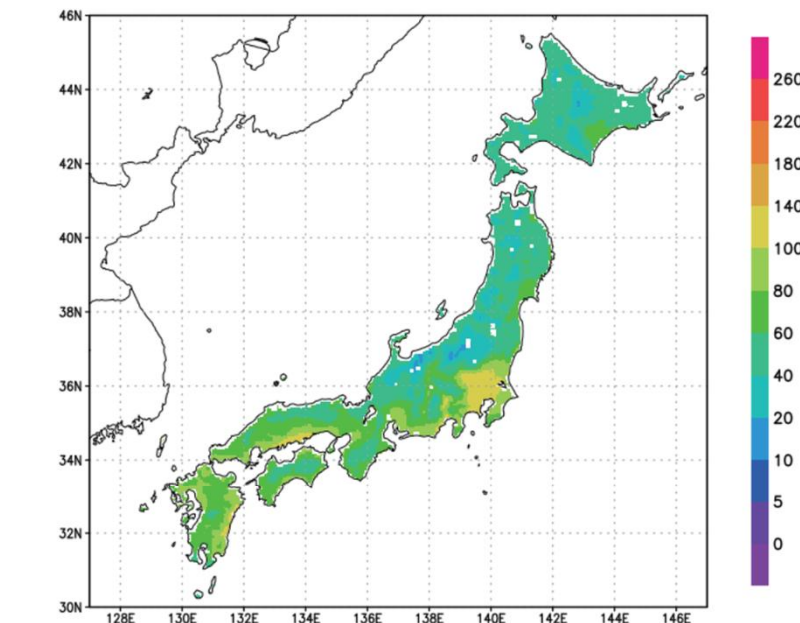
- 土石流に伴う流木災害の被害を軽減するため、流木が土石流の先頭に集まる過程や治山ダムによる流木の捕捉過程を明らかにした上で、**溪流内への流木堆積量を予測できる手法を開発**。
- 林野火災防止のため、日々の降水量と林床日射量から、林床における落葉層の含水比を計算し、含水比が一定以下となる**「林野火災発生危険日」の年間総日数を算出、分布マップ**を作成。



流木は、溪流勾配が大きいほど  
土石流の先頭に集まりやすいことを再現



流木堆積量のシミュレーション結果は  
実際の堆積状況にほぼ合致



相対日射率と胸高断面積  
合計の関係  
(胸高断面積合計が大きい  
ほど、林床の相対日照率  
は小さい)

資料: 第5期中長期  
計画成果34

## 2. 第6期の戦略課題に関連する第5期の主な成果②

### 【(A2)森林の生物多様性の評価と保全】

- 伐採時に一部の樹木を伐り残す「**保持林業**」の実証実験を実施。単木保持は**広葉樹が多いほど保全効果**が**大きい**が、群状保持は生物群により効果が異なることが判明。人工林施業では、広葉樹を10本/ha以上残すことを提案。
- **スギの全染色体(11本)の塩基配列(91億塩基対)**を解読。全体の84%が「**繰り返し配列**」。



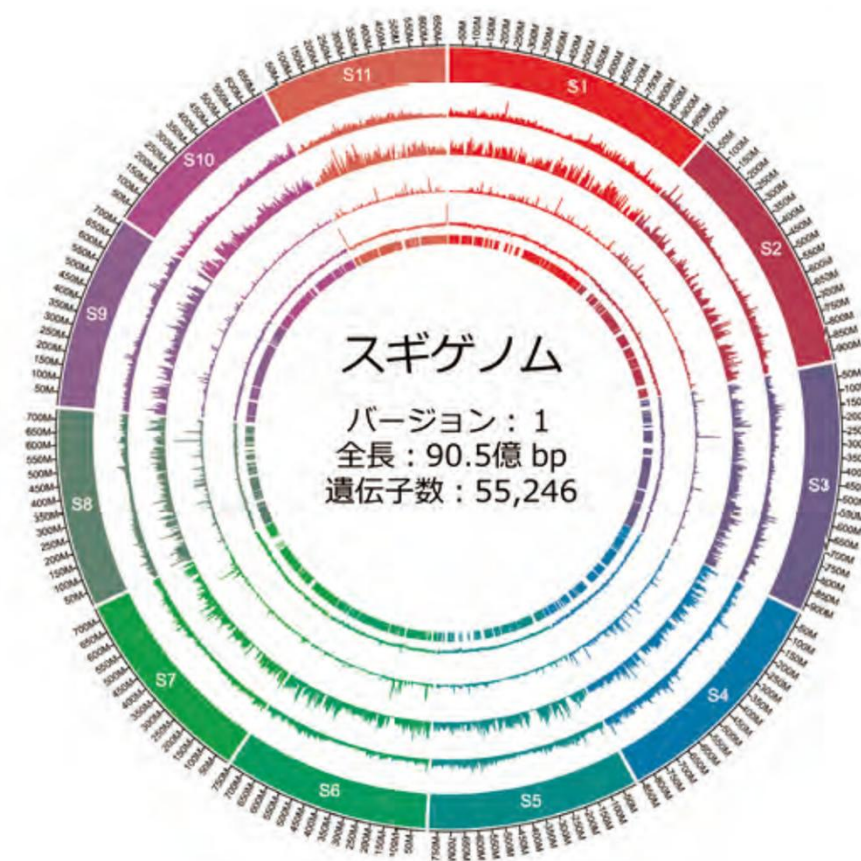
保持林業の実験区

| 機能      | 生物群など      | 単木保持量との関係 <sup>a</sup> | 群状保持の避難場所効果 <sup>b</sup> |
|---------|------------|------------------------|--------------------------|
| 生物多様性保全 | 鳥類         | +                      | なし                       |
| 生物多様性保全 | 林床植生       | なし                     | +                        |
| 生物多様性保全 | オサムシ類      | +                      | +                        |
| 生物多様性保全 | 腐肉食性甲虫     | +                      | なし                       |
| 生物多様性保全 | コウモリ       | +                      |                          |
| 生物多様性保全 | 外生菌根菌      | +                      | +                        |
| 木材生産性   | 伐出生産性      | -                      |                          |
| 水土保全    | 伐採直後の変化を緩和 | +                      |                          |

a: 広葉樹保持量と正(+), 負(-)の関係、または関係が認められない(なし)

b: 群状保持の避難場所効果があり(+), なし(なし), または調査せず(空欄)

保持林業の効果

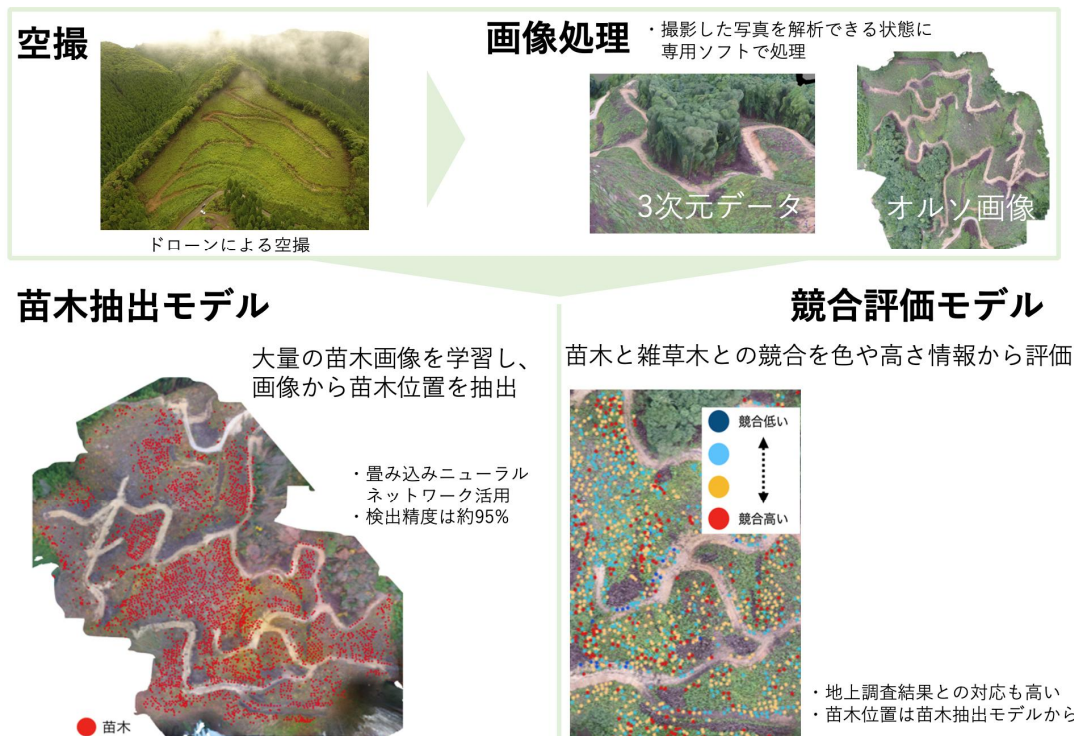


スギゲノムの全貌

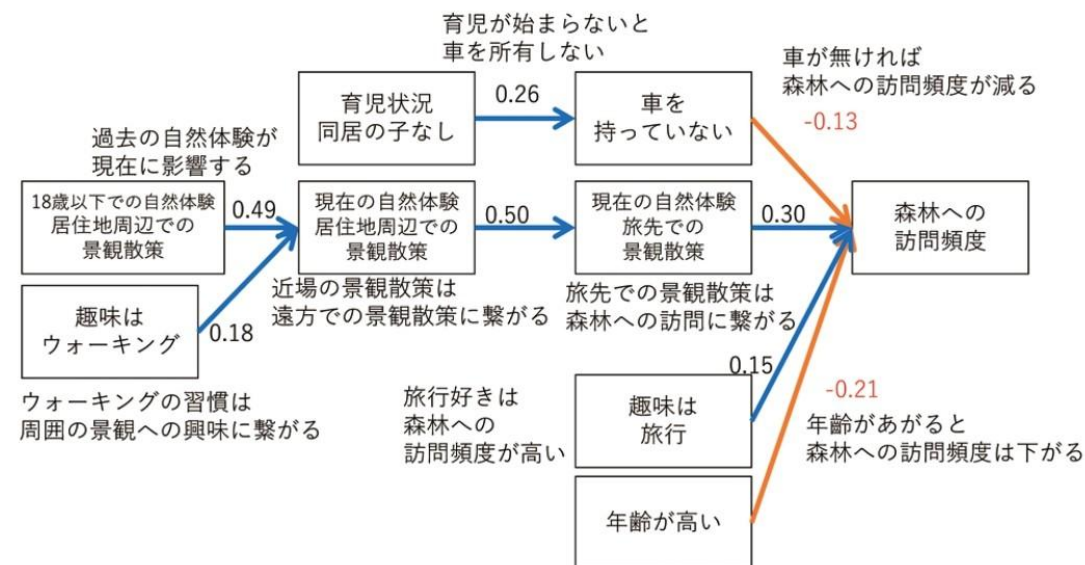
## 2. 第6期の戦略課題に関連する第5期の主な成果③

### 【(B1)森林資源の持続的利用と山村地域の活性化】

- 造林地における下刈り要否の判定を行うため、UAVによる空撮画像から苗木と雑草木との競合関係を評価する手法を開発。現地調査による目視判定と同程度の精度で判定可能。
- 東京23区の住民5千人に、森林空間利用に関するアンケートを実施。48%が森林に無関心、64%が過去1年に森林を訪問せず。訪問頻度に影響を与える要因は、「非育児世帯が自動車を持たないこと」「ウォーキング習慣」「旅行経験」の3つ。



UAV空撮画像から下刈りの要否を判定する技術  
(空撮、画像処理を行い、苗木抽出と競合評価の2つのモデルでそれぞれ解析を行う)



森林への訪問に結び付く要因と因果関係  
(過去の自然体験やウォーキングの習慣が訪問に結び付く一方、子供のいない世帯はあまり車を持たないため訪問が阻害される)

## 2. 第6期の戦略課題に関連する第5期の主な成果④

### 【(B2)森林病虫獣害防除技術と森林微生物資源の高度利用技術】

- シカ対策のため、食塩水を入れたバケツを林内に設置することにより、春～初夏に、メスを強く誘引できることを実証。
- スギ雄花のみに寄生するシドウィア菌を用いたスギ花粉飛散防止剤を開発。植物ホルモン(サリチル酸ナトリウム等)を用いた、新たなスギ、ヒノキ、シラカンバの花粉飛散防止剤も開発。



09/29/2022 16:31:38 020C



(上)食塩水を飲みにきたニホンジカのメス  
(バケツの設置から誘引されるまで1ヶ月程度)

(左)食塩水を入れたプラスチック製バケツ  
(食塩や水の追加は1～2ヶ月に1回)

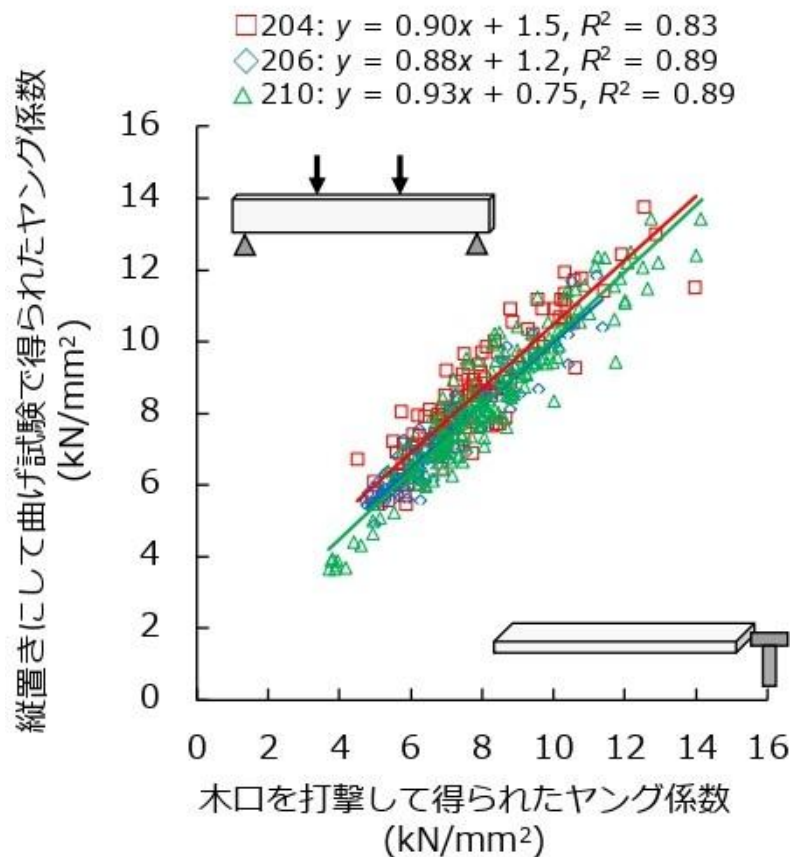


シドウィア菌を利用したスギ花粉飛散防止剤の効果  
(感染した雄花は開花せず、花粉が飛散しない)

## 2. 第6期の戦略課題に関連する第5期の主な成果⑤

### 【(B3)木材の高度利用】

- 2x4製材の品質管理に当たり、曲げ荷重の負荷ではなく、ハンマーで木口等を打撃した際に生じる振動から、ヤング係数(※木材のたわみやすさの指標)を測定する手法が適用可能であることを解明。
- 高層・大規模建築物の木造化に向けて、大断面を有する木質系面材料として、厚さ30cm以上の「超厚合板」を開発。曲げ性能や2時間耐火の断熱性能を確保できる仕様を研究。



打撃法と曲げ試験によるヤング係数の関係  
(両方で測定されたヤング係数に高い正の相関あり)



厚さ30cm以上の「超厚合板」  
(従来の厚物合板の10倍以上の厚さ)

## 2. 第6期の戦略課題に関連する第5期の主な成果⑥

### 【(B4)木質バイオマスの持続的・総合的な利用】

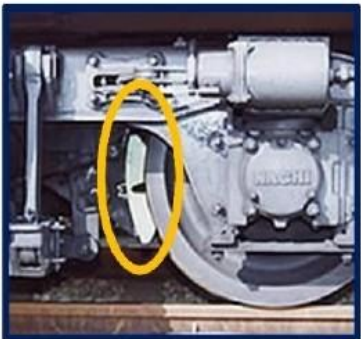
- スギ材を原料として、木材成分のリグニンから、**石油系プラスチックを代替する高性能な新素材「改質リグニン」**を製造する技術を開発。更に、改質リグニンから、耐熱性と柔軟性を有する高機能フェノール樹脂を製造する技術を開発。
- 木材そのものを糖化・発酵させて酒にする、「木の酒」の製造技術を開発。



改質リグニン

左:ベルトフィルターにより連続分離された改質リグニン

右:乾燥して粉末とした改質リグニン



改質リグニン利用  
フェノール樹脂に  
よる鉄道用  
ブレーキシュー

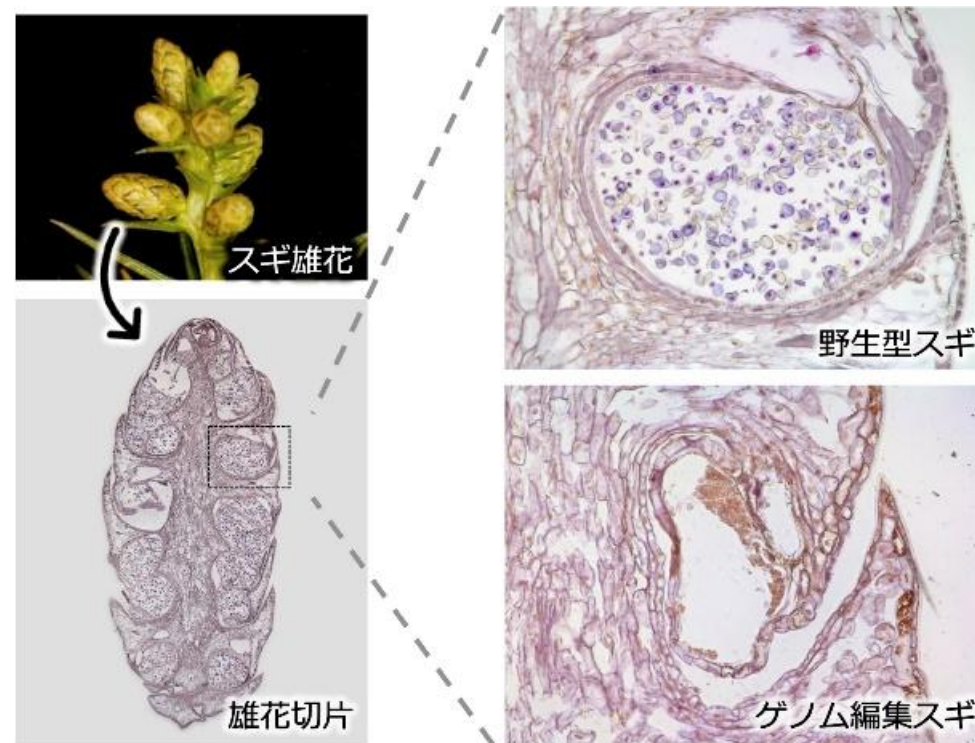
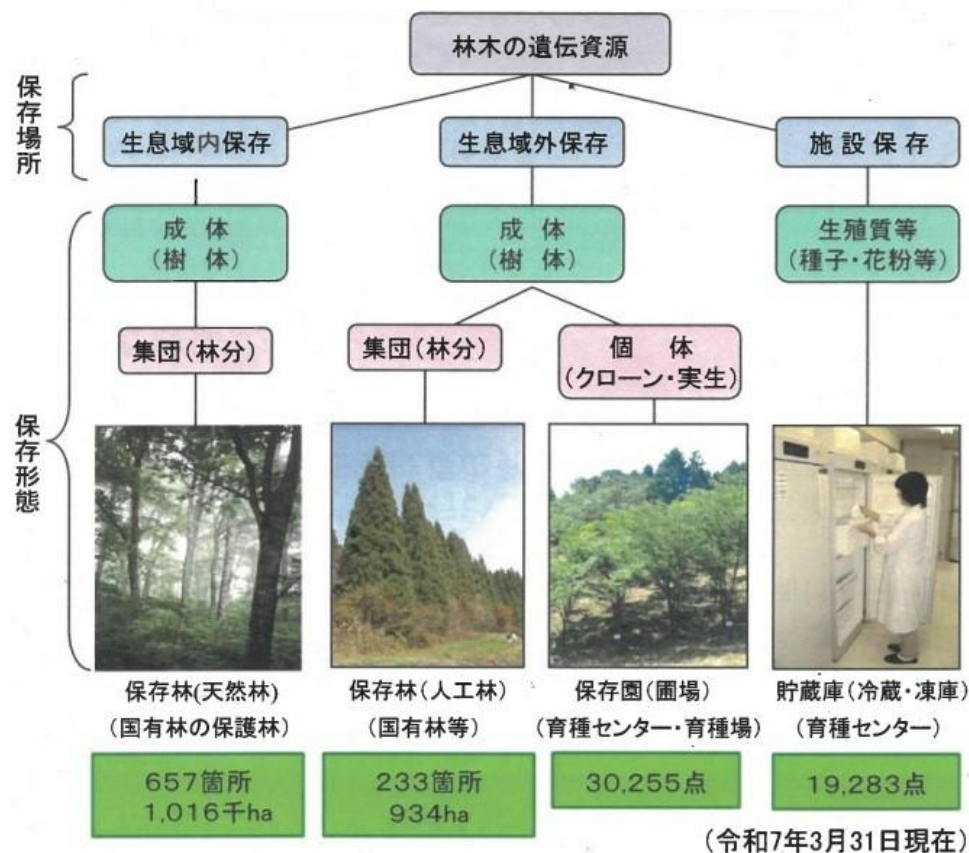


試験製造した「木の酒」  
(スギ、シラカバ、ヤマザクラ、ミズナラ、クロモジ。  
手前が蒸留酒、奥が醸造酒)

## 2. 第6期の戦略課題に関連する第5期の主な成果⑦

### 【(C1)林木育種基盤の充実と育種技術の高度化】

- 林木遺伝資源を探索・収集、**成体約3万点、種子・花粉等約2万点を保存。**
- **ゲノム編集技術**(※遺伝子の狙った部分を編集する技術)により、花粉形成に必要な遺伝子に変異を誘導することで、**スギの無花粉化に成功。**



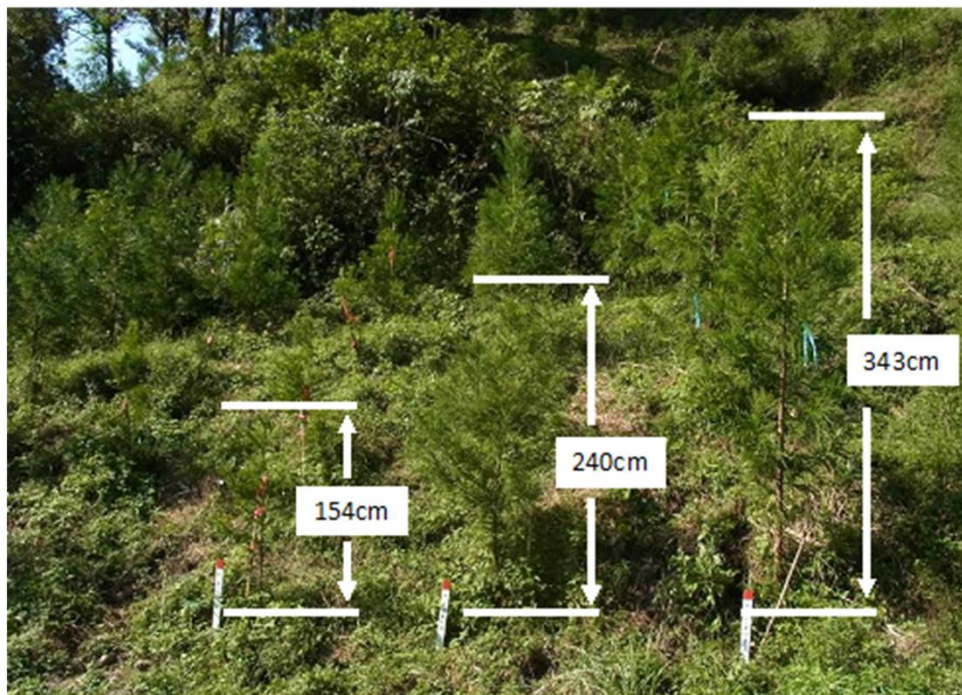
ゲノム編集による無花粉スギの作出  
(花粉を作る遺伝子に変異を導入し、機能しなくなるようにすることで、スギを無花粉化)

林木遺伝資源の保存方法

## 2. 第6期の戦略課題に関連する第5期の主な成果⑧

### 【(C2)優良品種等の開発・普及及び技術指導】

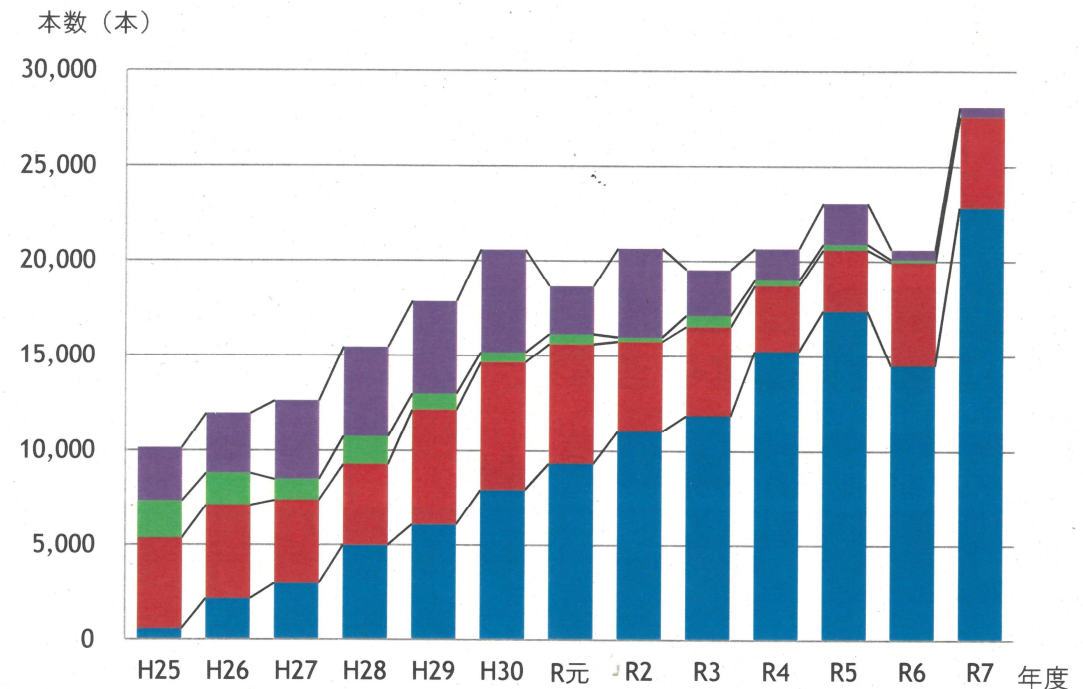
- 精英樹同士を交配した個体等から、「**第2世代精英樹(エリートツリー)**」1,306系統を選抜。474系統※<sup>1</sup>を「**特定母樹**」(通直、成長速度1.5倍、花粉量半分以下等)に指定。
- 花粉発生源対策のため、**少花粉品種216品種**(スギ161、ヒノキ55)、**無花粉スギ34品種**※<sup>2</sup>を開発。
- 都道府県等に、採種園・採穂園造成用の**原種苗木を配布**。



在来品種 第1世代精英樹 エリートツリー

エリートツリーと従来のスギ品種の初期成長の比較  
(宮崎県内の試験地に植栽されたエリートツリー(右)と対照系統(左:在来品種、中:第1世代精英樹)の植栽から3成長期後の様子)

資料:森林産業実用化カタログ2025



■ 特定母樹 ■ 花粉症対策品種 ■ マツノザイセンチュウ抵抗性品種 ■ その他  
注) 原種苗木等とはつぎ木苗木、さし木苗木、穂木である。  
特定母樹と花粉症対策品種の両方に該当するもの(平成26~令和7年度のスギ)については特定母樹に含めている。

### 原種苗木の配布実績

※1:県との共同申請含む。

※2:都県や大学との共同開発含む。

### 3. 成果の普及

- 森林総合研究所では、毎年、主要な研究成果を「研究成果選集」にとりまとめ。2025年版では、研究成果21件を紹介。
- 2025年には、社会実装が可能と考えられる成果81件を「森林産業実用化カタログ」としてとりまとめ。
- 「季刊 森林総研」を年4回発行して、最新の研究動向を紹介。





国立研究開発法人 森林研究・整備機構

# 森林総合研究所

Forestry and Forest Products Research Institute



国立研究開発法人 森林研究・整備機構

## 森林総合研究所 林木育種センター

Forest Tree Breeding Center



国立研究開発法人 森林研究・整備機構

## 森林総合研究所 森林バイオ研究センター

Forest Bio-Research Center

## 特定母樹等普及促進会議の開催について

### 1. 会議の目的

本会議は、平成 25 年度の間伐等特措法の改正により、特定母樹制度が導入されたことを契機とし、特定母樹等の早期普及に向けた取組を地域において推進するための情報交換及び共同研究の推進を目的として、平成 27 年度から育種基本区ごとに開催しているところ。

### 2. 構成

特定母樹等の普及に取り組む都道府県・林業関係団体その他必要に応じて目的の達成に資する団体等のほか、林野庁関係では研究指導課等及び各地区の森林管理局、機構関係では、森林総合研究所及び各支所、森林整備センター及び各整備局等、森林保険センター、林木育種センター及び各育種場の参加を予定。

### 3. 令和 8 年度の開催予定

- ・北海道地区 時期：10 月 28 日(水) (林業研究・技術開発推進ブロック会議と同日程)  
場所：会議・研修施設アキュ (北海道札幌市)
- ・東北地区 時期：11 月 10 日(火) (林業研究・技術開発推進ブロック会議と同日程)  
場所：森林総合研究所東北支所 (岩手県盛岡市)
- ・関東地区 室内会議  
時期：7 月 31 日(金)  
場所：森林総合研究所林木育種センター (茨城県日立市)  
現地検討会  
時期：9 月 30 日(水) (林業研究・技術開発推進ブロック会議の翌日)  
場所：茨城県林業技術センター (茨城県那珂市)、関東 90-92 号検定林 (茨城県常陸大宮市)
- ・関西地区 時期：10 月 29 日(木) (林業研究・技術開発推進ブロック会議の前日)  
場所：近畿中国森林管理局 (大阪府大阪市)
- ・九州地区 時期：10 月 15 日(木) (林業研究・技術開発推進ブロック会議と同日程)  
場所：九州森林管理局 (熊本県熊本市)

以上

災害救助法の適用を受けた区域を対象とした森林保険の対応について  
〔・令和 8 年 6 月 24 日からの大雨に伴う災害 〕

- 上記災害により、災害救助法の適用を受けた区域を対象に、森林保険契約の継続手続きの猶予措置を定めた通知を森林保険業務の委託先である道府県森林組合連合会等に出発するとともに、森林保険センターホームページにも掲載。
- 措置内容は、
  - ①保険契約者が保険期間満了の30日前までに継続契約の申込みができなかった場合であっても、森林保険センターが猶予措置を決定した日から6月を経過する日の属する月の最終営業日までに申出があった場合は、同日まで継続契約の締結手続きを猶予する。
  - ②猶予期間内に保険料を添えて継続契約の申込が行われた場合は、現契約と同一の契約条件により、現契約の満了日をもって継続による契約が成立したものとする。

## 災害救助法の適用による森林保険のお手続き猶予措置状況

| 対象災害等                       | 対象区域<br>(防災情報のページヘルリンク)                                                                              | お手続き猶予措置<br>決定日<br>(括弧書きは最新の決定日) | お手続き猶予措置<br>期限 | お手続き猶予措置<br>終了日 |
|-----------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------|----------------|-----------------|
| 令和8年6月24日から大雨に伴う災害          | <a href="#">福岡県の3市1町、<br/>鹿児島県の1市</a>                                                                | 2026/6/25<br>(2026/6/29)         | 2026/12/28     |                 |
| 令和8年岩手県大槌町の林野火災に係る災害        | <a href="#">岩手県の1町</a>                                                                               | 2026/4/24                        | 2026/10/30     |                 |
| 令和8年1月21日から大雪に係る災害          | <a href="#">青森県の7市10町4村、<br/>秋田県の4市2町1村、<br/>山形県の2市6町3村、<br/>新潟県の4市</a>                              | 2026/1/30<br>(2026/2/6)          | 2026/7/31      |                 |
| 令和7年青森県東方沖を震源とする地震に伴う災害     | <a href="#">青森県の3市7町2村<br/>岩手県の5市4町3村</a>                                                            | 2025/12/9                        | 2026/6/30      |                 |
| 令和7年11月18日大分市佐賀関の大規模火災に伴う災害 | <a href="#">大分県の1市</a>                                                                               | 2025/11/19                       | 2026/5/29      | 2026/5/30       |
| 令和7年台風第22号に伴う災害             | <a href="#">東京都の7町村</a>                                                                              | 2025/10/9                        | 2026/4/30      | 2026/5/1        |
| 令和7年9月12日から大雨に伴う災害          | <a href="#">三重県の1市</a>                                                                               | 2025/9/16                        | 2026/3/31      | 2026/4/1        |
| 令和7年台風第15号等に伴う災害            | <a href="#">静岡県の9市1町</a>                                                                             | 2025/9/5<br>(2025/9/8)           | 2026/3/31      | 2026/4/1        |
| 令和7年9月2日から大雨                | <a href="#">秋田県の1市1町1村</a>                                                                           | 2025/9/3<br>(2025/9/17)          | 2026/3/31      | 2026/4/1        |
| 令和7年台風第12号に伴う災害             | <a href="#">鹿児島県の1市</a>                                                                              | 2025/8/29                        | 2026/2/27      | 2026/2/28       |
| 令和7年8月20日から大雨               | <a href="#">秋田県の1市</a>                                                                               | 2025/8/21                        | 2026/2/27      | 2026/2/28       |
| 令和7年8月6日から低気圧と前線による大雨       | <a href="#">石川県の1市<br/>山口県の1市<br/>福岡県の1市<br/>熊本県の6市5町<br/>鹿児島県の4市</a>                                | 2025/8/8<br>(2025/9/8)           | 2026/2/27      | 2026/2/28       |
| 令和7年カムチャツカ半島付近の地震に伴う津波      | <a href="#">北海道の69市町村<br/>青森県の9市町村<br/>岩手県の12市町村<br/>宮城県の15市町<br/>福島県の3市町<br/>静岡県の8市町<br/>三重県の2市</a> | 2025/7/30                        | 2026/1/30      | 2026/1/31       |
| 令和7年台風第8号に伴う災害              | <a href="#">沖縄県の2村</a>                                                                               | 2025/7/30                        | 2026/1/30      | 2026/1/31       |
| トカラ列島近海を震源とする地震             | <a href="#">鹿児島県の1村</a>                                                                              | 2025/7/10                        | 2026/1/30      | 2026/1/31       |

今後の主な会議・行事予定について

| 日 付           | 研究 | 整備 | 保険 | 行 事 名                                              | 場 所 等                                                            |
|---------------|----|----|----|----------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------|
| 7月16日         | ○  |    |    | 森林講座「花粉を少なく、そしてなくすー品種改良によるスギ花粉症への対応ー」              | 多摩森林科学園 森の科学館<br>(東京都八王子市)<br>(主催：森林総合研究所)                       |
| 7月17日         | ○  | ○  | ○  | 農林水産省国立研究開発法人審議会<br>第33回林野部会                       | 農林水産省<br>(主催：農林水産省)                                              |
| 7月23日～<br>24日 | ○  |    |    | 令和8年度東北林業試験研究機関連絡<br>協議会総会                         | 大船渡市防災観光交流センター「お<br>おふなぽーと」(岩手県大船渡市)<br>(主催：東北林業試験研究機関連絡<br>協議会) |
| 7月25日         | ○  |    |    | 令和8年度第1回森林教室<br>「昆虫ひょうほんをつくろう！」                    | 関西支所(京都市)<br>(主催：関西支所)                                           |
| 7月29日         | ○  |    |    | 森林総合研究所 夏の一般公開「クマの<br>あしあとをたどろう」                   | 森林総合研究所<br>(主催：森林総合研究所)                                          |
| 7月29日         |    | ○  |    | 水源林造成業務リスク管理委員会                                    | 整備センター(神奈川県川崎市)<br>(主催：森林整備センター)                                 |
| 7月31日         | ○  | ○  | ○  | 令和8年度特定母樹等普及促進会議                                   | 林木育種センター(茨城県日立市)<br>(主催：林木育種センター)                                |
| 8月5日～<br>6日   | ○  |    |    | 令和8年度消費者の部屋夏休み特別イ<br>ベント「しっとと？国のお仕事」               | 熊本地方合同庁舎A棟(熊本市)<br>(主催：九州農政局)<br>(ブース出展：九州支所)                    |
| 8月5日～<br>6日   | ○  |    |    | 令和8年度 夏休み親子見学デー                                    | 京都農林水産総合庁舎(京都市)<br>(主催：近畿農政局)<br>(ブース出展：関西支所、関西育種<br>場)          |
| 8月6日          | ○  | ○  |    | 2026サイエンスパーク<br>「木や森を体感しよう！～樹種の違い<br>を学ぶ木エクラフト体験～」 | 北海道大学総合教育棟(札幌市)<br>(共催：北海道支所、北海道育種場、<br>北海道水源林整備事務所)             |

|               |   |   |  |                                  |                                                                  |
|---------------|---|---|--|----------------------------------|------------------------------------------------------------------|
| 8月7日          | ○ | ○ |  | 令和8年度九州森林技術開発協議会                 | 九州森林管理局（熊本市）<br>（主催：九州森林管理局、九州支所）                                |
| 8月19日～<br>20日 | ○ |   |  | 令和8年度九州地区林業試験研究機関<br>連絡協議会場所長会議  | 福岡県農林業総合試験場資源活用研<br>究センター（福岡県久留米市）<br>（主催：九州地区林業試験研究機関<br>連絡協議会） |
| 8月21日         | ○ |   |  | 森林講座「クロストーク：写真で巡る日<br>本列島の多様な植生」 | 多摩森林科学園 森の科学館<br>（東京都八王子市）<br>（主催：森林総合研究所）                       |

主要行事（令和8年6月5日～令和8年7月9日）

| 月 日     | 行 事 内 容                | 出 席 者                     |
|---------|------------------------|---------------------------|
| 6月5日(金) | 【共】理事会                 | 理事長、各理事、森林保険センター所長、監事     |
| 〃       | 【共】令和7年度監事監査調書の手交      | 理事長、監事                    |
| 8日(月)   | 【研】ウッドデザインセミナー2026     | 理事長                       |
| 11日(木)  | 【共】令和7年度監事による監査報告書の手交  | 理事長、監事                    |
| 〃       | 【共】第1回機構リスク管理委員会       | 理事長、各理事、森林保険センター所長、監事     |
| 15日(月)  | 【共】国立研究開発法人審議会第32回林野部会 | 理事長、各理事、森林保険センター所長        |
| 19日(金)  | 【研】監事退任式               | 理事長、企画・総務・森林保険担当理事、研究担当理事 |
| 23日(火)  | 【研】フェロー授与式             | 理事長、企画・総務・森林保険担当理事、研究担当理事 |
| 〃       | 【育】田代第1採種園視察           | 育種事業・森林バイオ担当理事            |
| 25日(木)  | 【共】第1回ダイバーシティ推進委員会     | 企画・総務・森林保険担当理事、法令遵守担当理事   |
| 27日(土)  | 【研】NPO法人 才の木 講演        | 理事長                       |
| 29日(月)  | 【研】第13回SGEC森林認証運営委員会   | 理事長                       |
| 30日(火)  | 【研】日本森林技術協会第81回定時総会    | 理事長                       |
| 7月1日(水) | 庁議                     | 理事長                       |
| 〃       | 【研】入所式                 | 理事長、企画・総務・森林保険担当理事、研究担当理事 |
| 2日(木)   | 【研】多摩森林科学園視察           | 理事長、企画・総務・森林保険担当理事、研究担当理事 |
| 〃       | 【研】赤沼実験林、連光寺実験林視察      | 企画・総務・森林保険担当理事            |
| 6日(月)   | 【研】監事就任挨拶              | 理事長、企画・総務・森林保険担当理事、研究担当理事 |

※ 【研】：森林総合研究所、【育】：林木育種センター、【整】：森林整備センター、【保】：森林保険センター、【共】：共通の行事 の略

## 森林研究・整備機構が広報普及した主なプレスリリース等について

### ○ 前月以降公開済のプレスリリース

|   | 広報タイトル                                                                  | 機関名             | 概要(ポイント)                                                                                                                                                                                                                                | URL                                                                                                                                                           |
|---|-------------------------------------------------------------------------|-----------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 | 中部山岳地域で発見の相次ぐチョウセンミナバリの系統・隔離の歴史を検証                                      | 筑波大学<br>森林総合研究所 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・中部山岳地域で近年確認が相次ぐカバノキ属のチョウセンミナバリは、中国大陸のものと同種であることが遺伝情報から推定されました。</li> <li>・最終氷期最盛期には日本列島に広く分布していましたが、その後の温暖化で分布が縮小したと考えられます。</li> <li>・また、近縁種のダケカンバと区別する方法も明示しました。</li> </ul>                     | <a href="https://www.ffpri.go.jp/press/2026/20260529/documents/20260529press.pdf">https://www.ffpri.go.jp/press/2026/20260529/documents/20260529press.pdf</a> |
| 2 | 原発事故後の森林で放射性セシウムの安定時期を解明<br>—木材の放射性セシウム濃度を長期予測する科学的根拠に—                 | 森林総合研究所         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・原発事故後の森林で、放射性セシウム(セシウム137)の動きがいつ安定するかを、10年にわたる調査で明らかにしました。</li> <li>・セシウム137の樹木の中での分布や、土壌から樹木への移行は、事故から約6年後に安定しました。</li> <li>・この成果は、木材のセシウム137濃度の長期予測への活用が期待されます。</li> </ul>                    | <a href="https://www.ffpri.go.jp/press/2026/20260616/documents/20260616press.pdf">https://www.ffpri.go.jp/press/2026/20260616/documents/20260616press.pdf</a> |
| 3 | 限られた人員・予算の中でも民有林林道を効率的・持続的に管理できる仕組みへ転換が必要<br>—全国調査から見えた課題と新たな管理の方向性を提示— | 森林総合研究所         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・全国の民有林林道の維持管理における課題を、体系的、定量的に明らかにしました。</li> <li>・民有林林道の維持管理には、補修・維持管理予算や市町村担当職員の不足、路網データのデジタル化の遅れなど、複合的な課題が存在しています。</li> <li>・データ基盤の整備や維持管理作業の担い手をはじめ補完する体制の構築に対して、技術的支援・予算的支援が必要です。</li> </ul> | <a href="https://www.ffpri.go.jp/press/2026/20260625/documents/20260625press.pdf">https://www.ffpri.go.jp/press/2026/20260625/documents/20260625press.pdf</a> |

### ○ 最近のシンポジウム・イベント

|   | 名称                                 | 機関名                                | 開催場所・主催等                                               | 開催日      |
|---|------------------------------------|------------------------------------|--------------------------------------------------------|----------|
| 1 | 第45回 森林の市 inAKITA                  | 森林整備センター<br>東北北海道整備局<br>秋田水源林整備事務所 | 開催場所: 東北森林管理局(秋田市)<br>主催等: 森林の市inAKITA実行委員会            | 5月30日(土) |
| 2 | 第24回ひろしま「山の日」県民のつどいin東広島市憩いの森公園    | 森林整備センター<br>中国四国整備局<br>広島水源林整備事務所  | 開催場所: 憩いの森公園 ほか(広島県東広島市)<br>主催等: 「山の日」県民の集い実行委員会、中国新聞社 | 6月7日(日)  |
| 3 | 森林講座「木はどこまで変形できるか —木材変形加工の基礎と最前線—」 | 森林総合研究所                            | 開催場所: 多摩森林科学園 森の科学館(東京都八王子市)<br>主催等: 森林総合研究所           | 6月12日(金) |